

渋谷駅ハチ公口交差点前「QFRONT」ビル壁面の大型ビジョン 「Q S EYE」をリニューアル！

7月25日(木)から放映再開

東京急行電鉄株式会社

当社は、渋谷駅ハチ公口交差点前の「QFRONT(キューフロント)」ビル壁面に設置された大型ビジョン「Q S EYE(キューズアイ)」の機能更新を行い、7月25日(木)から放映を再開します。

「Q S EYE」は1999年12月の放映開始以来、音楽やエンターテインメント関連企業をはじめ、さまざまな企業のコマーシャル映像などを放映してきました。「QFRONT」に面する渋谷スクランブル交差点は、一週間で約150万人が通行し、都内でも情報感度の高い人たちが集まるスポットです。渋谷スクランブル交差点・ハチ公前広場から最も視認性が高い「Q S EYE」は、10代だけでなく、20代・30代を幅広くリーチできるメディアとして機能しています。

今回のリニューアルにより、メインビジョン(99.5㎡)は、HD画質でアスペクト比が16:9の映像にも対応。高精細な9.5mmピッチのパネルを採用し、ハチ公前広場周辺の屋外ビジョンでは最高精細の表示が可能となり、より美しく、安定的な放映を行えるようになります。



また、パソコンからの映像送出にも対応することで、リアルタイムでの映像配信やスマートフォンと連携した双方向の演出なども行えるようになります。これまでにない全く新しいコミュニケーションが可能になることで、渋谷の来街者とながら楽しんで“遊べるメディア”として大きく生まれ変わります。

「Q S EYE」は、渋谷駅周辺再開発事業の将来像である「エンタテインメントシティしゅがや」の新たな顔となる存在として、また渋谷の多様性、寛容性、先端的な文化性を世界に向けて情報発信する大型屋外ビジョンとして、人々の期待にこたえ、地域・社会に貢献していく、次世代にふさわしい新しいメディアを目指していきます。

また東急グループは、渋谷地区において、「Q S EYE」以外にも東急百貨店、109、東急プラザ、渋谷ヒカリエなどグループ各施設が屋外広告媒体を展開していることから、今後はそれぞれとの連携を深め、渋谷におけるOOH事業の強化を図っていく予定です。

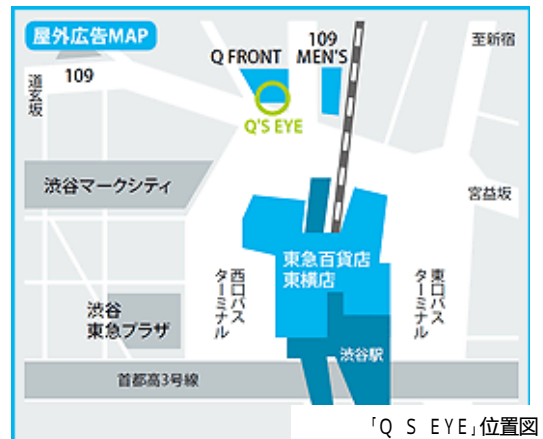
以上

【別紙】

<「Q S EYE」リニューアルの概要>

- 設置場所 QFRONT(キューフロント)ビル(東京都渋谷区宇田川町21-6)の壁面
内容 ・高精細なピッチパネルの採用
・輝度・解像度の向上
・HD画質でのCM放映対応
- 放映時間 9時~24時の15時間 (他、24時~25時の深夜放送)
放映開始 7月25日(木) 午前11時
一般広告販売は8月1日(木)以降の放映分を予定しています。
- 製造・施工 イッツ・コミュニケーションズ株式会社、ソニービジネスソリューション株式会社、ヒビノ株式会社

運営管理統括 東京急行電鉄株式会社
販売業務受託 東急エージェンシー
広告放映に関する問い合わせ先
東急エージェンシー
東急OOHメディア部
電話:03-3475-9533



<Q S EYE 表示部仕様>

<メインビジョン>

HD横長対応時(16:9)
絵素ピッチ:9.5mmピッチ
画面面積:99.5m²
アスペクト比 16:9
画面寸法:W12954mm×H7682mm
画面解像度:H1356dot×V806mm

<全画面表示>

絵素ピッチ:29.4mmピッチ
画面面積:453m²(内約100m²メインビジョン)
アスペクト比 16:20.11
画面寸法:W19002mm×H23880mm
画面解像度:H644dot×V812mm

<共通仕様>

輝度5000cd/m²
視野角:水平±60° 垂直+15° -45°
階調処理:16bit

以上